

1月7日

佐藤チエさん 100 歳
(前沢生母)

百 寿



衣川で生まれ、20歳で故・幸三郎さんと結婚。4人の子どもをもうけ、孫6人、ひ孫9人に恵まれています。牛の繁殖農家で、今でも牛舎の清掃と牛との会話が日課となっているチエさん。活字が好きで、毎日、新聞に目を通しています。100歳を迎え「こんなに長生きするとは思わなかった」とにこやかに語りました。

1月8日

方言かるたで世代交流

イベント



南都田地区振興会は、新春なつた方言かるた大会を同地区センターで開催しました。子どもと大人の混合チームが、優勝を目指し熱戦を繰り広げました。参加者は「ゆぎかぎをあらがた終わり こびりにし」など地域色豊かな読み札を聞き、素早く絵札に反応。かるたを通して同地域の方言の魅力を再確認していました。

1月8日

オリジナリティーあふれる
縄文時代の装飾品づくり

イベント



「冬休み工作教室 縄文アクセサリづくり」が、市埋蔵文化財調査センターで開催されました。参加した親子らは、丸や勾玉の形をした粘土にそれぞれの好きな色を着色。それらをつなげ、ブレスレットやネックレスを作りました。参加者は、完成したアクセサリを身に付け、縄文時代の気分を楽しんでいました。

1月10日

防災使命を胸に一致団結

市 政



市消防出初式が市文化会館（Zホール）などで開かれました。新型コロナウイルス感染症の影響で2年ぶりの開催となった今回の出初式。冷え切った空気の中、消防団員ら約560人が決意を新たに分列行進を行いました。その後の式典は、例年より規模を縮小し、団幹部のみが出席して執り行われました。

1月10日

及川榮さん 100 歳
(江刺藤里)

百 寿



北海道空知郡で生まれ、27歳で故・克男さんと結婚。2人の子どもをもうけ、孫3人、ひ孫1人に恵まれています。看護婦として国内外の病院に勤務した後、藤里診療所や江刺市役所で看護婦や保健婦として活躍。以前から「100歳まで生きる」と言っていたそうで、家族に囲まれ元気に百寿を迎えられました。

1月16日

安齋ミツ子さん 100 歳
(水沢佐倉河)

百 寿



江刺米里で5人きょうだいの長女として生まれ、27歳のとき故・博さんと結婚。息子2人、孫4人、ひ孫9人に恵まれています。昭和19年から日赤救護看護婦として神奈川県などで活躍し、その後、病院勤務を経て養護教員として県内小中学校に勤めました。ミツ子さんは、100歳を迎え「最高に幸せです」と語りました。

1月18日

プロカメラマンから
撮影の極意を学ぶ

イベント



市は、持続可能な農業のためのセミナー「売り上げUPにつながる“ばえる”写真の撮り方」を江刺総合支所で開催しました。講師は、プロカメラマンで、現在は山ブドウ農家を営む三浦学氏。参加者は、集客力の上昇や商品の情報を効果的に伝えるための写真の撮り方や撮影時のテクニックを学んでいました。

1月20日～30日

開館 20 周年を記念し
郷土画家の作品一堂に

イベント

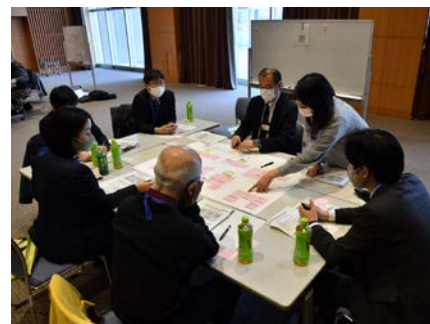


めんこい美術館の開館20周年を記念し「佐々木精治郎展」が同館で開催されました。佐々木精治郎(1885～1971年)は、水沢黒石町出身の画家。ロサンゼルス美術学校を主席で卒業し、肖像画など数多くの作品を残しました。企画展では、収蔵品のほかに地元や個人から借りた作品も展示され、来場者が見入っていました。

1月21日

交流のつながる街を目指し
政策推進の方法探る

市 政



市は、ワークショップ「つながる TNGR」を江刺総合支所で開催しました。昨年7月に続き2回目の開催。今回は「みんなが『TNGR』まちづくり」と題し、19人が4班に分かれて話し合いを行いました。参加者は、市の魅力や課題を挙げ、今後つながりが生まれるまちづくりを目指すためのアイデアを発表しました。

1月24日

梅津いつさん 100 歳
(水沢真城が丘)

百 寿



宮城県白石市で長女として生まれ、25歳ごろに結婚。子ども7人を育て上げました。現在、孫18人、ひ孫26人、やしゃご7人に恵まれています。「いつの間にか100歳になってびっくりした」と語るいつさん。長寿の秘訣を伺うと「くよくよせず、ストレスをためないこと」と教えてくれました。

1月26日

菊池かねよさん 100 歳
(胆沢小山)

百 寿



一関市大東町のご出身で、20代で故・馬吉さんと結婚。1男1女、孫4人に恵まれています。植林や炭焼きの仕事のほか、保育園でも働いていました。俳句や日本舞踊が趣味で、いつも明るく前向きな性格のかねよさん。100歳を祝う盛大な拍手に「幸せ。最高の命の喜びです。皆さん本当にありがとうございます」と応えました。

1月29日、30日

コロナに負けないで！
市民らが熱演

イベント



第14回奥州市民☆文士劇「西遊記一神も仏も己の中に。行くぞ悟空、天竺めざせ！」が、コロナ対策を取った上で江刺体育文化会館ささらホールにて上演されました。劇は、三蔵法師や孫悟空らが天竺を目指すおなじみのストーリー。コロナ禍であっても前を向き、力強く生き抜くメッセージを市民らに届けました。